

病虫害発生予察情報

8月月報

令和7年9月17日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2025 年 8 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均					
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
上旬	35.4	2.9	25.9	2.2	29.9	2.4	37.5	126.7	63.6	100.0
中旬	34.3	2.6	25.0	1.6	29.0	2.0	4.5	7.3	66.6	116.8
下旬	36.7	5.9	26.0	3.5	30.5	4.4	0.0	0.0	96.4	167.9
平均	35.5	3.8	25.6	2.4	29.8	2.9				
合計							42.0	24.2	226.6	127.3

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：期間のはじめは台風第9号の影響で雨となり、その後、高気圧に覆われて晴れの日が続いた。期間の終わりは前線の影響で雨が降り、8日には上空の寒気の影響で雷を伴った。
旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなった。

中旬：期間のはじめは前線や湿った空気の影響で曇りや雨となった。その後は高気圧に覆われておおむね晴れとなったが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けて一時雷雨となった日もあった。
旬平均気温は高く、旬間日照時間は多く、旬降水量は平年並となった。

下旬：高気圧に覆われて概ね晴れの日が続いた。
なお、東京では30日の日最高気温が38.5℃となり、統計開始（1875年）以降、8月として高い方から3位となった。
旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間はかなり多く、旬降水量はかなり少なくなった。

2 作物生育概況

（1）イネ

8月上旬～中旬に出穂し、生育は平年並みである。

（2）野菜類

果菜類：各品目で高温・乾燥による障害が発生し、収穫終了時期が例年より早まった。ナスは「つやなし果」、エダマメは不稔莢がめだった。

葉菜類：キャベツ、ブロッコリーでは高温による苗の生育不良、定植遅れ、活着不良がみられた。コマツナでは芯枯れなどの障害が発生した。

根菜類：ニンジン、ダイコンでは高温・乾燥による播種時期の遅れや発芽不良が発生した。

イモ類:サトイモは高温・乾燥により葉焼け、生育不良が続いた。

(3) 果樹

農総研果樹圃場(灰色低地土)における主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

ブドウ:‘高尾’で収穫始めは平年より9日早くなった。

‘高尾’収穫始 8月13日(−9日)

ナシ:収穫始めは、‘幸水’、‘稲城’、‘秀玉’で1~3日早くなった。

‘幸水’収穫始 8月15日(−1日)

‘稲城’収穫始 8月21日(−3日)

‘秀玉’収穫始 8月25日(−1日)

(4) 茶樹

降雨がほとんどなく、丘陵地などの水はけのよい畑は枯れる可能性がある。通常生育が悪くなる水が集まりやすいくぼ地の方が生育がよい。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	<やや少>	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	<やや多>	発生はやや多かった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ		
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
果樹共通		
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	<やや多>	発生はやや多かった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並みであった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

大島：パッションフルーツでカイガラムシ類の発生がやや多く、この影響によりすす病が多発した。

三宅島：露地オクラでアブラムシ類の発生が多かった。

御蔵島：トマト・ミニトマト、キュウリ、トウガラシでコナジラミ類の発生が多かった。
ピーマンでアブラムシ類の発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺あり>

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp
/nourin/shoku/anzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。